

(申請者) 指定番号 事業者名

その1 事業者に関する理由 (①: 事業所全体の受給者総人員を対象に計算)
(②: ①が2名以下の場合、希望の有無をチェック)

① 次の計算で、給与受給者 ②の人数が2名以下の場合は該当

⑦ 名 - ① 名 = ② 名

事業所全体の受給者総人員 ⑦のうち普通徴収の該当者数 (⑦-①)

①には、他の市町村居住者も含み、「その2」(普 b~普 f) に該当するすべての合計人数を記入します。

② 普通徴収を 希望する ⇒ 普 a に該当 (②のうち中富良野町提出人数 名)
 希望しない

その2 給与受給者に関する理由及び人数 (対象は提出先市町村の居住者のみ)

符号	普通徴収への切替理由 (下記以外の理由は不可)	人数	
普 b	複数の事業者から給与の支払いがあり、他に主たる給与の支払いを受けている者	名	合計名
普 c	給与が少額で、税額の引き去りができない可能性のある者	名	
普 d	給与が支給されない月があり、税額の引き去りができない可能性のある者	名	
普 e	個人事業主の事業専従者で、専従者給与を受けている者	名	
普 f	退職者及び原則として5月31日までに退職予定の者 (退職予定者は、明細書の摘要欄に退職予定日を記入)	名	

※ 必ず、裏面の作成要領をよくお読みの上、記入してください。

- この理由書は、当面普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する場合は、毎年提出してください (全員を特別徴収とする場合は、提出不要です。)
- 給与支払報告書と併せて、毎年、提出期日 (1月31日) までに提出してください。普通徴収を認める理由に該当するかどうかは、別途、基準の内容をご確認ください。また、申出の内容について、更に詳しい事情をお聞きする場合があります。なお、この基準 (理由書の普 a ~ 普 f) 以外の切替理由は認められません。

<記載上の注意事項>

- 「その1」の②の人数は、他の市町村居住者も含む受給者総人員を 対象に計算してください。
- 「その1」の① (普通徴収の該当者数) には、「その2」の理由 (普 b ~ 普 f) に該当する者も含まれます。
- 「その1」の②で普通徴収を希望した場合、②に該当する給与受給者の個人別明細書の摘要欄には「普 a」の符号を記入してください。(eTAX等ご利用の場合は(6)に同じ。)
- 「その2」の人数は、中富良野町内に居住の給与受給者のみを対象に記入してください。
- 「その2」の切替理由に該当しない給与受給者は、全て特別徴収の対象者となります。
- 「その2」の該当者は、必ず個人別明細書の摘要欄に該当する符号 (普 b ~ 普 f) を記入してください。(eTAX又は光ディスク等をご利用の場合でも、摘要欄には 符号を入力してください。なお、入力できないときはこの理由書を添付して送信してください。)
- (6)の記入等がない場合は、特別徴収として処理されます。特に、普 f の退職予定者は個人別明細書の摘要欄に退職予定日を必ず記入してください。

※ 基準に該当しても、理由書の提出がない場合や記載内容に不備がある場合は、普通徴収への切替えができないことがありますのでご注意ください。

＜お問合せ先＞ 中富良野町役場税務住民課 電話0167(44)2124